

## たいし

第146号

発行/太子町議会 編集/議会広報委員会

## 議会だより

平成26年3月定例会で決まったこと

p 1 ~ p 5

4議員が町政を問う (一般質問)

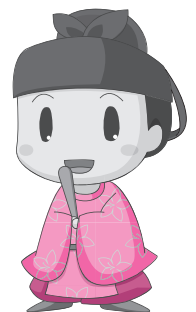
p 6 ~ p 8

議会のうごき

p 8

## 3月定例会 主にこんなことを決めました

第1回定例会は、3月3日に招集され、3月25日までの23日間にわたって開かれました。今定例会では、平成26年度の一般会計予算をはじめ、6特別会計及び水道事業会計の予算他、補正予算、条例改正などがありました。また、一般質問には、4人の議員が登壇し、活発な議論が交わされました。



## 平成26年度 各会計予算

会 計 名	予 算 額	対前年度伸率 (%)
一 般 会 計	4 2 億 4 3 3 9 万 7 千 円	▲ 1 4 . 6
国 民 健 康 保 険 特 別 会 計	1 6 億 2 6 1 8 万 3 千 円	▲ 2 . 8
山 田 財 産 区 特 別 会 計	4 5 9 万 4 千 円	▲ 0 . 8
春 日 財 産 区 特 別 会 計	9 3 万 5 千 円	▲ 0 . 7
下 水 道 事 業 特 別 会 計	3 億 4 5 2 1 万 4 千 円	6 . 3
介 護 保 険 特 別 会 計	1 0 億 2 1 4 5 万 7 千 円	4 . 2
後 期 高 齢 者 医 療 特 別 会 計	1 億 5 6 8 1 万 5 千 円	1 . 1
水 道 事 業 会 計	3 億 4 7 8 7 万 2 千 円	4 0 . 3
合 計	7 7 億 4 6 4 6 万 7 千 円	▲ 7 . 3

※水道会計の予算規模は、収益的支出－減価償却費＋資本的支出。

平成25年度  
補正予算

会計名	補正額	補正後の総額
一般会計	1億2097万8千円	54億3322万2千円
下水道事業	▲70万9千円	3億2239万7千円
介護保険	189万円	9億8596万4千円

●一般会計

【主な内容】

・磯長小学校多目的教室の非構造部材耐震化  
538万6千円

●中学校他空調整備事業  
4470万6千円

※中学校普通教室など21教室。磯長小学校支援学級2教室

質疑

問 学校の空調整備の内容は。

答 今回の補正予算は中学校の普通教室21台の整備と磯長小学校の支援学級の整備を実施。小学校の普通教室の空調整備については、今後の検討課題と考えている。

問 空調整備や非構造部材耐震化整備に係る地方交付税措置は。

答 空調整備や非構造部材耐震化整備に係る補助金を除いた一般財源はすべて起債でまかない、この元利償還額の5割から8割が後年度の交付税として措置

されることになってい

●下水道事業

質疑

問 流域下水道の太子町の負担金が上がった原因は。

答 太子町の計画上の汚水処理量の比率が高まったため、他市町村に比べて、今後の計画人口の減少幅が少なく推計されたことが原因。

条例制定

●土地開発基金条例制定の件

質疑

問 用地取得する場合、議会の関与は。

答 1件700万円以上、かつ5千㎡以上の用地取得については、議決案件。該当しないものでも議会に説明したいと考えている。すべての案件について、買戻しの際にも審議を行ってもらう。

条例改正

●一般職の職員の給与に関する条例中改正の件

質疑

問 今回の改正の内容は。

答 国家公務員に準ずる形で超過勤務手当を計算していたのを労働基準法に準じた計算に変更。

●町立幼稚園設置条例中改正の件

【内容】 教育時間以外の時間に行う保育（預かり保育）を実施することに伴い保育料の徴収等について改正。

質疑

問 人数の規模は。

答 40人を想定し、20人に一人の指導員と考

実施日及び実施時間		金額	
月火木金曜	午後2時～午後4時まで	日額	200円
水曜	午前11時30分～午後4時まで	日額	400円
夏季休業日	午前9時～正午まで	日額	300円
	正午～午後4時まで	日額	400円
	午前9時～午後4時まで	日額	700円
全実施日 (月利用)	4月～6月、9月～3月	月額	4000円
	7月	月額	7000円
	8月	月額	8000円



町立幼稚園で預かり保育が始まります

え、保育士又は幼稚園教諭免許保持者が条件。

●国民健康保険条例中改正の件

	①賦課限度額の引き上げ		
	一般（医療）分	後期高齢者支援分	介護分
現行	51万円	14万円	12万円
改正	51万円	16万円	14万円
国基準	51万円	16万円	14万円

- ②低所得者の保険料減額基準に単身世帯も5割軽減が適用される
- ③2割軽減の範囲を35万から45万に拡充

# 77億4646万7千円を可決



路面にひび割れが目立つ  
西山竜王子線の路面舗装整備



新たな道路、太子西条線整備  
(石川から二上山を望む)



集団健診が拡充されました

## 主な計画事業

木造住宅耐震改修設計補助事業 (321万5千円) / ため池ハザードマップ作成事業 (600万円) / 聖和台地区、西山竜王子線路面舗装 (3100万円) / 大平橋修繕のための設計 (540万円) / 太子西条線整備にかかる調査・設計 (1330万円) / 学校LAN設備整備事業 (300万円) / 町立学校園老朽化大規模改修計画策定 (300万円) / 集団健診事業 (361万円) / 大道旧山本家住宅倉庫活用事業 (1250万円) / 観光推進事業 (651万円) など

## 一般会計

### 「歳入予算の概要」 町税

は、個人所得の増に伴う個人住民税の増収が見込まれるものの、市町村たばこ税で、前年度実績ベースから減収が見込まれ、全体としては減収見込み。給食関連事業(センター、中学校改修)の減(約3億5千万円)、公社返済金(約4億2千万円)の減があり、予算総額は、5年ぶりに前年度割れ。

## 質疑

**問** ふるさと太子応援基金の寄付の状況と、他市町村で実施している寄付に対する特典等の考えは。

**答** 24年度までは毎年寄付があったが、25年度では今現在実績がない。寄付に対する特典は、

今後の研究課題。

**問** 地区集会所等が防災の避難所に指定されているが耐震化整備を考えているか。

**答** 25年度、公共施設保全調査を実施。その結果で、優先順位により順次整備を検討する。

**問** 公用車運転委託料の中身の説明を。

**答** 今までは職員が町の公用車バスの運転をしていたが、職員が出ることができない場合に備えて、運転業務を委託。1日2万円で20回を予算計上。

**問** 税務地図情報システムの内容は。

**答** 固定資産税の評価替えに利用。航空写真、地番図及び住宅地図などをデジタル化する現況確認用のシステム。

**問** 男女共同参画社会推進条例施行に伴った

新たな予算措置は。

**答** 年3回目標で男女共同参画を企画したニュースの発刊やイベント時に啓発、講演等を計画したい。

**問** 太子西条線周辺の民間開発計画の進捗状況は。

**答** 1件はホームセンターの開発計画があり、もう1件ドラッグストアの計画がある。市街化調整区域の為、開発の進捗状況を見据えながら、都市計画道路整備を進めていく。

**問** 木造住宅耐震改修制度の変更点は。

**答** 新たに設計費についても補助が出るようになった事と、一部屋を強固にするシエルト方式というものが補助対象となった。

**問** 防災無線戸別受信機のデジタル化の進捗状況は。



# 平成26年度予算 総額

**答** 27年度以降に予算計上して行きたい。

**問** 葉室地区消防団の車庫移転先は。

**答** 葉室集会所北側の下方に防火水槽があり、その奥の葉室地区の所有地に建設予定である。

**問** 地域福祉支援地図情報システムの活用法は。

**答** 一人暮らしや介護認定を受けた高齢者、障害者等が災害時等の援助を求め、160件ほど登録をしている。システム化することで民生委員や支援者が災害時に迅速に対応できるようにする。

**問** 健診委託料の増加の理由は。

**答** 集団健診時、がん検診をセットで実施するなど、がん検診の日数が増えたため。

**問** スポーツ施設情報

システム、オーパスによる手続きの流れは。

**答** オーパスに登録手続きすれば、パソコン上で施設の予約ができる。使用料は、施設使用後、口座振替で引き落としに。従来通り体育館窓口の申込も可能。

**問** 健康マイレージの府内市町村の実施状況と、府の事業は。

**答** 府内4市で実施。府もマイレージ事業を実施する市町村に人的支援など考えている。

## 討論

**【反対】** 安倍政権は「社会保障・税一体改革」にもとづき消費税増税と本格的な社会保障改悪を進めている。大企業や新たな軍拡の推進の一方、国民・住民には負担増。太子町では、道路管理事業や中学校

他空調整備、集団健診事業の充実などが実現する。しかし、個人住民税には2014年から10年間、年千円の増税。財政調整基金は約13億円。一般会計への繰入で国保料や介護保険料など公共料金の引き下げを。交通手段の確保など住民の暮らしを応援し、自治体本来の役割の発揮を求め反対する。

能で安定した行財政運営に努められるよう要望し、賛成する。

**【賛成】** 限られた財源の中で、防災減災、教育、少子高齢化など町政の喫緊の課題に対応。健康マイレージ事業や集団健診の拡充、町立幼稚園での預かり保育、防犯カメラ設置補助金の創設、旧山本家住宅の倉庫を活用した拠点づくりなどの事業が盛り込まれている。一方、4月から消費税率が改正される中、国や大阪府の補助金等の歳入確保にも努力している。今後、だれもが安心して生き生き暮らせるまちづくりを推進するため、持続可

## 国民健康保険

## 質疑

くよう検討したい。増加したのは。

**問** 一般会計繰入金が増加したのは。

**答** 老人、障害、ひとり親医療費の福祉医療の国費が減額されている分を増額。子ども医療助成の減額分を合わせ、福祉4医療費の国費減額分をその他一般会計繰入金で188万2千円増額している。

※意見をつけての賛成討論がありました。

**問** 退職被保険者が減るのは、団塊の世代が減り、一般被保険者が増加しているという事か。

**答** 65歳前後が団塊の世代に当たるので退職被保険者が減少している。75歳前後の世代がほぼ同数で後期高齢者医療に。一般被保険者の数はあまり変わっていない。

## 介護保険

## 質疑

**問** 第6期計画策定についての展望は。

**答** 国会で審議中。今後、制度の中身が大きく変わってくる予定。利用者のサービス低下

**問** 人間ドックは、4施設のみで実施。他に増やす予定は無いのか。

**答** 要望があるのは聞いている。増やしてい

を招く事のないよう注視していききたい。

**問** 要支援1・2の人が介護保険給付枠から外された後の事業は。

**答** 保険給付費から地域支援事業に移行する形になり、基本的には事業内容は変わらない。



するボウ 巢ゲン ちウ 舎チヨ

後期高齢者医療

質疑

**問** 大阪府の財政安定化基金の状況はどうなっているのか。

**答** 約31億円の財政安定化基金を保有。全額保険料に充当すれば、1人当たり年3千45

8円となる。基金は、保険料を抑制するためにも活用できるとなっており、広域連合は基金の活用を府へ要望していたが「受益と負担の観点から、公費投入による保険料抑制は行わない」とされた。

討論

**【反対】** 75歳になった途端、別だての医療制度に困り込む世界でも例のない制度。府の保険料は、全国平均より高いが、保険料値下げのための財政安定化基金からの拠出を拒否。

年金収入223万円の男性の例で、介護保険料と後期高齢者医療保険料を合わせ20万円を超えることに。短期保険証発行、滞納者への差し押さえなど、厳しい制裁措置が行われている。真に豊かな高齢期を支える医療制度への転換を求め反対する。

**【賛成】** 昨年12月に、「持続可能な社会保障制度の確立を図るための改革の推進に関する法律」(プロگرام法)が成立し、保険料に係る低所得者の負担軽減など、平成29年度までを目途に制度の見直しを行うこととされている。制度の円滑な運営に努力するよう要望して賛成する。

水道事業

質疑

**問** いわき台配水池制御設備改造工事に至った経緯は何か。

**答** 配水池が住宅地より低い位置にあり、常時ポンプで圧力を調整している。現状は、停電時に自家発電機を備えて対応しているが、機器の故障により長時

間あるいは長期間にわたり断水する可能性がある。機器の故障が発生しても現場手動操作によるポンプ運転ができるように制御設備を改造工事する。

**問** 消費税増税により水道料金は1軒どれくらい上がるのか。

**答** 1軒当たり、年間1400円の増額を見込んでいる。

選任同意

●新副町長、武矢幸信氏の選任に同意

全会一致で選任に同意しました。

武矢 幸信氏



平成26年度第1回定例会議決結果一覧表

件名	結果
<b>〔26年度予算〕</b> 一般会計	賛成多数
国民健康保険特別会計	可決
山田財産区特別会計	可決
春日財産区特別会計	可決
下水道事業特別会計	可決
介護保険特別会計	可決
後期高齢者医療特別会計	賛成多数
水道事業会計	可決
<b>〔25年度補正予算〕</b> 一般会計補正(第4号)	可決
下水道事業特別会計補正(第2号)	可決
介護保険特別会計補正(第2号)	可決
<b>〔条例制定〕</b> 土地開発基金条例制定の件	可決
<b>〔条例改正〕</b> 町議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例中改正の件	可決
消防団員等公務災害補償条例中改正の件	可決
一般職の職員の給与に関する条例中改正の件	可決
町立幼稚園設置条例中改正の件	可決
国民健康保険条例中改正の件	可決
非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例中改正の件	可決
<b>〔その他〕</b> 河南町太子町及び千早赤阪村介護認定審査会共同設置規約の変更に關する協議について	可決
副町長の選任について同意を求める件	同意
土地開発公社決算及び清算結了の報告の件	報告

### 3月定例会の一般質問

# 町政を問う

## 4人の議員が登壇

この記事については、質問者においてまとめたものです。

自転車の安全利用について…………… P 6

地域の魅力アップについて…………… P 7

入札の透明化を…………… P 7

ゴミ出し困難者に援助を…………… P 7

外出支援策の具体化を…………… P 7

ブドウの大雪被害に補償を…………… P 8

高齢者の医療費負担の軽減を…………… P 8

### 自転車の安全利用について

羽山 茂男 議員

**問** 自転車は幼児から高齢者まで、幅広い層が日常生活で利用する身近な交通手段。

今、自転車利用者のマナーアップが望まれている現状を捉えて、国は「良好な自転車交通秩序の実現のための総合対策の推進について」―安全で快適な自転車利用環境創出ガイドライン―などを出して国としての方向性を示し、関係機関が共同して安全利用を促進する取組みを積極的に進めることとしている。

から自転車の走行環境の整備について、道路整備上の道路幅員等の問題があり、道路管理者・警察等と十分に協議して、長期的な観点で取り組んで参りたいと考えており、まずは、自転車利用者に対する注意喚起を中心に啓発を考えている。

の広報啓発活動を行うなど地域・住民・警察等関係機関と協力を行いながら、自転車の安全利用について積極的に取り組む。

そこで、このような自転車利用者による交通事故や放置自転車が社会問題となっている今、自転車利用者のマナーアップが望まれている現状を捉えて、注意喚起と路面整備を中心に本町における自転車の安全利用推進についての考えは。

具体的には、小中学生に対しては「交通安全教室」などを開催し「自転車の正しい乗り方」の学習、一般の住民の方々には、イベント開催時に自転車利用者のルールの普及を目的とした啓発また、町広報紙、防災行政無線において「自転車安全利用5則」である、

**要望** 自転車の交通安全問題は、現在大きな社会問題ともなっている。町では、現在多くの通勤、通学者が駅までの交通手段として自転車を利用されており、欠かす事の出来ない移動手段となっている。

1. 自転車は車道が原則、歩道は例外

2. 車道は左側を通行

町における「自転車の交通安全対策」について、ソフト・ハード両面において、引き続き関係機関と連携し積極的に取り組んでいただく事を強く要望する。

2. 歩道は歩行者優先で車道寄りを徐行

3. 安全ルールを守る

子どもはヘルメット着用

本町の道路状況か

ト着用





# 地域の魅力アップについて

建石 良明 議員

## Q旧山本家住宅の活用方策など

**問** 議員として、永年にわたり強く要望してきた「山田小学校の体育館新築及び運動場の拡張」が実現したことを報告する。

観光振興を中心とした地域活性化の取り組みは、雇用の創出と同時に地域の経済対策の起爆剤としても大いに期待されている。観光まちづくり協会が創設され、まちづくり観光交流センターもオープンした。地域が有する資源を活かした賑わいや交流の創出・観光振興を図っていくための施策として、旧山本家住宅の活用方策、観光モデルコースの開発を実施していくとのことだが、これらの事業内容を問う。

**答** 国の登録文化財に指定されている旧山本

家住宅の倉庫改修により、展示ギャラリーや多目的スペース、また、地域の茶店ギャラリーとした活用方策も考えられている。

名所・旧跡までの方向や距離を示す「誘導サイン」等、観光案内標識設置の充実、独自性を持った新たな「観光モデルコース」を開発し観光客の受け入れ整備と情報発信の確立をめざす。

## Q観光協会の土日祝日の開設など

**問** 観光まちづくり協会の、土・日・祝日の開設など、今後の魅力あるまちづくりを進める中で、太子町としての観光振興の将来ビジョンを問う。

**答** 協会と協議し、土・日・祝日の開設に向けた検討を進める。また、太子ゆかりの友好都市

との連携、観光まちづくり協会を窓口とする住民との協働を進め、町の総合計画の中で、観光ビジョンも整理し、次世代に向けた観光施策を見据えた内容としてまとめていく。

## 私の観光振興のプラン

和みの広場に観光協会の拠点を移し、観光案内・太子町の地場特産物販売・喫茶・軽食を提供するアンテナショップを設置する。



和みの広場にアンテナショップを

# 入札の透明化を

西田いく子 議員

## Q職務強要と、電磁的公正証書原本不実記録同供用の事件が結審した。日本共産党議員団は、3回行われた裁判の傍聴に行ったが、家庭系廃棄物収集運搬業務が一社独占だったことが、暴力団密接関係者につけ入るすきを与えた原因になったのではないのか。

**問** 職務強要と、電磁的公正証書原本不実記録同供用の事件が結審した。日本共産党議員団は、3回行われた裁判の傍聴に行ったが、家庭系廃棄物収集運搬業務が一社独占だったことが、暴力団密接関係者につけ入るすきを与えた原因になったのではないのか。

**答** 一社随意契約となっている廃棄物収集運搬業務は、業務の内容から環境保全の重要性、一般廃棄物処理の公共性に鑑み、経済性の確保等の要請よりも業務の確実な履行を重視する必要があり、長年その業務に携わり、安定的・的確に業務を遂行している業者と随意契約をしている。法に基づき適切な契約であり、入札・契約は、公平性を確保し、適正な事務を行っている。

## Qゴミ出し困難者に援助を

**問** 買い物や病院に行くのも困難な高齢者が増えており、日常のごみ出しにも不便を感じているという高齢者の方がいる。ごみ出しも困難になってきた高齢者対策として、河内長野市では、要介護2以上の65歳以上の高齢者や障害者の安否確認を兼ね、退職した市職員が週1回、ゴミの収集をしている。太子町でも実施できないか。

**答** 訪問介護サービスでヘルパーが行ったり、見守り協力員やご近所の方々でごみ出しの協力をして頂いている。ごみ出しが困難だという申し出を受けたら、地域の皆様と共に解決に向けて考えている。

## Q外出支援策の具

**問** ①ワーキングチームの現状は。②直接住民の声を聞き、感じたこと、必要だと思うことは。③今後の具体的な動きは。

**答** ①外出困難度の高い方に対する支援策は、プラン案ができていますが、対象者をもう少し広い範囲でとらえ、太子町の特性を生かした事業の具現化を検討中。②対象者を広げるなど町の特性を生かしていきたい。③時間を頂き、住民との約束である外出支援について町長任期中に本格的に実施出来るよう進めていきたい。

**要望** 国も公共交通の充実策に対し、予算を計上している。福祉センターバスを試験的に走らせてみる等できることから出発を。住民さんを巻き込んでいくことが大切。

ブドウの大雪被害に補償を

阪口 寛 議員

問 2月の大雪による農業被害は、全国で、総額1229億円、農業用ハウスの損傷2万5287件と、記録的な豪雪被害になった。大阪の被害額は4億7600万円。ぶどうの被害は深刻で、専業農家は「ブドウの樹が折れてしまい、新しい苗が育ち、出荷するまで5年ほどは無収入になる」「せっかく植えた苗がイノシシに荒らされる」とも言っている。

答 本町の被害は、ハウスの倒壊が8ヶ所、7農家、1・2ヘクタール、被害額約4千200万円である。

町として、撤去で発生した廃棄ビニールは、JAと共同で追加処理を受け付けた。国の支援策を農家に説明し、ハウスの再建、苗木の植え替え、収穫までの間の無収入期間の管理費用助成など、被災された農家が営農を継続できるように支援し、特産のブドウ産地の維持に努める。

Q 高齢者の医療費負担の軽減を

問 消費税の3%増税、医療・介護の負担増と制度改悪や年金支給額の削減など、国民の負担は大きくなり、加えて70歳から74歳の医療費窓口負担が1割から2割に引き上げられる。地方自治体にとって医療、介護は自治事務であり、本町は子どもの医療費助成を中学校卒業まで、大阪府下で先陣を切って助成してい

る。国や府が助成すれば、町の負担が減る分を70歳からの1割の医療費負担に回せないか。

答 府の乳幼児医療費助成の見直しは26年度中に行なわれるようだ。本町の負担が1千300万円軽減されるが、70〜74歳の人数は852名で、概算約6千201万円の助成費用が必要。実施は困難。

要望 高齢者の医療費

無料化は全国の自治体で取組み、国の制度になったこともある。欧州諸国では医療費の窓口無料は当たり前、以前できたことや外国でできていることは日本でもできる。国に医療制度の改革を強く求め、充実させることこそ、医療費を減らすことに。子ども医療費助成の充実とともに、高齢者への制度の発展を求める。

議会のうごき

研修報告

ふたかみ会



講師の中島氏と

あり、元人事院総裁、中島忠能氏による「地方議会に期待されること」という講義は、地方自治法改正により議会の監査・監視機能を中長期的に強化し、民意を出来るだけ行政に反映させる議会活性化が必要だとのことでした。

また『中央公論』6月号の東大客員教授、増田寛也氏執筆「削減する市町村523全リスト」の話題で、同志議員らと、各地方の状況など友好的な熱い議論を交わし、少子高齢化が急速に進む現実を「住民・行政・議会」が一体となり知恵を絞り、眼前に迫る「不都合な事実」とも言うべき事態を、地域の現状と課題を正確かつ冷静に認識・把握することから全ては始まるとのことでした。

議員研修等、積極的に参加し「笑顔で暮らせる町づくり」実現の為、邁進したいと心新たに考えさせられる研修でした。(村井浩二)

●議員辞職 5月20日、松永満議員が議長に辞職願を提出し受理されました。

議員の香典・弔電を自粛、挨拶状を廃止しています

太子町議会では、公職選挙法の趣旨を尊重する立場から、町民の皆様の弔事に際しまして議員個人の香典等を自粛、挨拶状の廃止を申し合わせています。皆様方のご理解とご協力をよろしく申し上げます。

次の定例会は、6月に開催されます。ぜひ、傍聴にお越しください。

日程については、ホームページ、広報無線でお知らせします。